

3

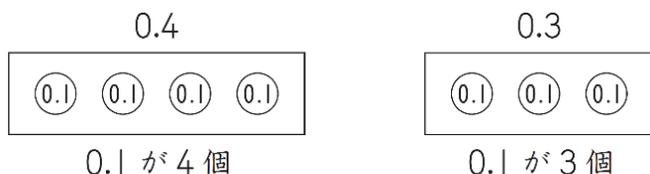
ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$ についてまとめています。



0.4は0.1の4個分、0.3は0.1の3個分です。

0.1を○0.1として下の図のように表します。



$0.4 + 0.3$ の計算は、0.1をもとにすると、 $4 + 3$ を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$ は、0.1をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

年 組 番 氏名

次に、 $0.4 + 0.05$ について同じようにまとめます。

0.4は○アの40個分、0.05は○アの5個分です。

$0.4 + 0.05$ の計算は、○アをもとにすると、 $40 + 5$ を使って考えることができます。

上の○アにはすべて同じ数が入ります。○アに入る数を書きましょう。

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



みおり

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。  
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2 + 1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。  
 もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

解答らん

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



解答らん

ア		イ	
---	--	---	--

(4)  $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$  を計算しましょう。

解答らん

令和7年度 小学校 算数 解答

3

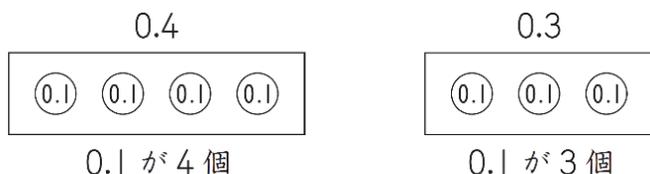
ひろとさんたちは、小数や分数のたし算についてふり返っています。

(1) ひろとさんは、 $0.4 + 0.3$ についてまとめています。



0.4は0.1の4個分、0.3は0.1の3個分です。

0.1を○0.1として下の図のように表します。



$0.4 + 0.3$ の計算は、0.1をもとにすると、 $4 + 3$ を使って考えることができます。

$0.4 + 0.3$ は、0.1をもとにする数にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

年 組 番 氏名

次に、 $0.4 + 0.05$ について同じようにまとめます。

0.4は○アの40個分、0.05は○アの5個分です。

$0.4 + 0.05$ の計算は、○アをもとにすると、 $40 + 5$ を使って考えることができます。

上の○アにはすべて同じ数が入ります。○アに入る数を書きましょう。

解答らん

0.01

※ 問題は、次のページに続きます。

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  についてまとめています。



みおり

$\frac{2}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 2 個分、 $\frac{1}{5}$  は  $\frac{1}{5}$  の 1 個分です。  
 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  の計算は、 $\frac{1}{5}$  をもとにすると、 $2 + 1$  を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$  は、もとにする数を  $\frac{1}{5}$  にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{4}$  の 3 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{3}$  の 2 個分です。  
 もとにする数が  $\frac{1}{4}$  と  $\frac{1}{3}$  でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$  についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$  はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$  はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

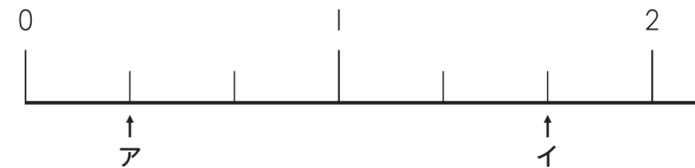
解答らん

(例)

$\frac{3}{4}$  と  $\frac{2}{3}$  のもとにする数を同じ数にするとき、その数は  $\frac{1}{12}$  です。

$\frac{3}{4}$  は  $\frac{1}{12}$  の 9 個分、 $\frac{2}{3}$  は  $\frac{1}{12}$  の 8 個分です。

(3) 次の数直線のア、イの目もりが表す数を分数で書きましょう。



解答らん

ア	$\frac{1}{3}$	イ	$\frac{5}{3}$
---	---------------	---	---------------

(4)  $\frac{1}{2} + \frac{1}{3}$  を計算しましょう。

解答らん

$\frac{5}{6}$
---------------